

Kofu Josai

vol.41

山梨県初の総合学科高校、夢をかなえる8系列。
好奇心旺盛な君、可能性をひろげたい君、一緒に
学んでみませんか？

私たちのこと、知ってほしくて作りました。
甲府城西高校の広報誌「KJ通信」です。

特集

地域の美化活動に取り組む 甲府城西生の紹介



- 特色ある甲府城西の学び紹介
- Keep challenging
- 学園祭
- 3年次生の進路実現への取り組み

甲府城西高校の今を伝えるKJ通信です。

地域とともに・・・

地域の美化活動に取り組む本校の活動を紹介します



本校は荒川のすぐ南に位置しています。その荒川の環境や、学校周辺の環境を守るボランティア活動に取り組んでいる2つの部とその活動に関連する授業を紹介します。

サッカー部

サッカー部は、「未来の荒川をつくる会」のボランティア活動に月1回のペースで参加しています。実際に荒川の中に入ってごみ拾いを行う活動です。この活動は、10年以上前から引き継がれており、部員達は前向きに取り組んでいます。そして、今年度この取り組みが「未来の荒川をつくる会」から表彰を受けました。

部長 3年 萩原 謙（押原中学校出身）



サッカー部がこのボランティア活動に取り組んでいることは入学前から知っていました。そして、そういった素晴らしい取り組みを行っている本校のサッカー部で活動したいと思い、私も入部しました。専用の防具を着用し、川に入ってゴミを集めることの大変さ、部員は意欲的に参加しています。代々受け継がれているボランティア活動なので、みんな高い意識を持って取り組んでいます。そしてサッカー部として地域を守る活動に参加できていることを誇りに思っています。

本校サッカー部は部員43名の本校の中核となっている部活動です。全国大会出場を目指し、日々の練習をがんばっています。



サッカー部の今年度の主な大会実績（10月まで）

- 令和3年度第100回全国高校サッカー選手権
山梨県大会ベスト16



野球部

本校の野球部は、3学年合わせて部員57名の本校でも一番大きな部活動です。その野球部は、部独自の活動として毎週水曜日の朝、学校周辺地域の道路や荒川の土手のごみ拾いの奉仕活動を行っています。この活動は10年以上前から行っており、部員達も積極的に取り組んでいます。野球部が数々の大会で実績を残しているのも、こういった地域に貢献したいという精神面での活動を行っているからこそだと思います。



野球部の今年度の主な大会実績

- 第73回春季関東地区高校野球山梨県大会ベスト8
- 第103回全国高等学校野球選手権山梨大会ベスト8



1年次 教科「産業社会と人間」での自然環境を考える講演会

1年次「産業社会と人間」の6月30日の授業で、「未来の荒川をつくる会」の清掃隊隊長である河野芳樹氏の講演を聴きました。この会は、2009年に設立され、河野さんは10年以上活動を行っているそうです。はじめは12名程度の活動でしたが、今では毎回100名以上の参加者がおり、その中に本校のサッカー部も含まれているとのことでした。「今より美しいふるさとであって欲しい、そしてプラスチック問題に取り組みたい。」との思いからこの活動が続けられているとのことでした。清掃活動は、川をきれいにするだけではなく、人間の「心磨き」にも役立っているそうです。

サッカー部だけでなく、甲府城西高校の生徒会もこの活動への参加を推進しています。昨年の10月には、生徒会役員を中心に、多くの生徒がこのボランティアに参加しました。

荒川自治会長 成島幸仁さんにインタビューをしました

荒川自治会長である成島幸仁（なるしま ゆきひと）さんは長年地域に住み、本校の学校評議員も務めていただいている。高校時代は野球をやっていて、地域の子供達に野球を教えていた時期には、本校の野球部の中にも教えた生徒もいるそうです。そんな本校に関わりのある方にインタビューしてみました。

●本校の印象は？

機山工業高校から甲府城西高校になったとき、県下初の総合学科高校ということで特色があり、人気が出るのではと思っていたが、実際人気校となり予想が当たった。地域の子供達も甲府城西高校に入学したいという声をよく耳にする。雪が降った時など、野球部の生徒達が、この地域の雪かきをしてくれてとても助かっている。私たちの地域の学校という印象を持っている。

●本校に期待することは？

ボランティア活動などの社会貢献を行う中で人間性を育んで欲しい。「未来の荒川をつくる会」のボランティア活動への参加の取り組みを聞き、とてもよい取り組みだと思った。生徒達には地域社会と共生できる人材になって欲しい。この地域だけに限らず、自分の住んでいる地域の活動にも積極的に参加し、社会を知る上でも、自治会の活動にも協力して社会の一員として人間性を育んで欲しい。



甲府城西高校の特色とは・・・

総合学科である本校は、**普通科、工業科、商業科**の学びの他に、**福祉家政系、スポーツ系**が学べる8系列を有する学校です。県内上位学校への進学はもちろんのこと、卒業生のほとんどが県内企業で働いています。地域とのつながりを大切にし、ボランティア活動等を通して豊かな人間性を育み、山梨県を支える人材を輩出しています。



工業系実習風景



商業系授業風景



福祉家政系実習風景
(介護実習)



スポーツ系実習風景
(スケート実習)

特色のある本校の授業紹介

福祉生活科学系列の選択科目「栄養」では毎年外部講師を招き、実践的な授業を行っています。この科目は栄養士や看護師など、人の一生における健康と栄養に興味関心のある生徒が対象で、他系列の生徒も選択できます。昨年度から引き続き、栄養教諭の今村久美子先生に授業を実施していただきました。年間3回の授業内容は、栄養教諭の仕事について、学校給食の献立作成、食育教材を考えるなどです。

そんな今村先生にインタビューをしてみました。

Q: 本校生徒の印象は?

A: あいさつをしっかりしてくれる。仲が良くあったかい感じ。

Q: 本校生徒に期待することは?

A: 何かやりたいと思ったことには興味関心を持って取り組み、専門性を身に着けて夢をかなえてほしい。自分の目標の可能性を広げることをしてほしい。



挑戦する城西生を
応援します

Keep challenging



3年 五味虹登 柔道・レスリング部
(甲西中学校出身)

全国高校生グレコローマンスタイル
レスリング選手権大会▶優勝
全国高等学校総合体育大会
レスリング競技 60kg級▶準優勝

●大会を終えて

“インターハイ”という壁はとても高く、大きいものだと実感しました。今後自分の納得のいく成績を残すために、弱点を克服する努力を続けていく必要があると感じました。悔しさをバネに、今大会で気が付いた自分の課題に向き合い、今後に繋げていきたいです。

●これからの抱負

コツコツ努力していくことを大切にしていきたいです。また自分に厳しく他人に優しくできる人物になることが目標です。レスリングを通じ、技術面とともに人物的にも成長していく選手になりたいです。



2年 松原楓歩 体操部
(甲府東中学校出身)

全国高等学校総合体育大会
新体操競技 個人総合▶11位
種目別:リボン▶7位・フープ▶25位

●大会を終えて

昨年は開催されなかったインターハイが無事開催され、参加できただけで感謝しています。大会には山梨の代表としての自覚と責任を持ち、強い気持ちで臨むことができました。演技では1回ミスをしてしまい悔しい思いをしましたが、大会に向けて自分に厳しく取り組んできたことで着実に力が付き、選手としても成長できた大会になったと思います。

●これからの抱負

これから新体操を続けていく上で、自分らしく演技すること大切にしていきたいです。また、たくさんの人達のサポートのおかげで競技を続けられることを忘れず、感謝の気持ちを持って自分の目標に向けて努力していきたいです。

令和3年度全国大会出場実績

- 全国高等学校総合体育大会 レスリング競技 55kg級
3位 小澤楽翔 (3年)
- 全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会
5位 小澤楽翔 (3年)
- 全国高等学校総合文化祭 合唱同好会
出場 白倉春菜 (2年) 出雲萌果 (2年) 猪俣千尋 (2年)
- 全国高等学校総合文化祭 囲碁の部門
21位 藤原葵 (2年)
- 全国高校囲碁選手権大会
女子個人一次リーグ2位 藤原葵 (2年)

- 全国高等学校情報処理競技大会
出場 今津結乃 (3年) 伊藤航也 (3年)
- 全国高等学校ビジネス計算競技大会
出場 藤原葵 (2年) 岸本美優 (2年)
- 全国高等学校ワープロ競技大会
出場 伊藤航也 (3年)
- 全国高等学校家庭クラブ研究発表大会
全国高等学校家庭クラブ連盟賞
全国高等学校長協会家庭部会賞
倉本芽咲 (3年) 青木友姫 (3年) 堀内七海 (2年)

学園祭

学園祭を振り返って

千祭一遇～空白の1年を取り戻せ～のテーマのもと、第24回希城祭が開催されました。今年度は新型コロナウィルス感染防止を目的とし、甲府城西高校として初めてYCC県民文化ホールをお借りして実施しました。様々な制約が設けられる中、工夫を凝らし互いにアイデアを出し合って作り上げたステージは、深く心に残る素晴らしいものとなりました。



1年次：合唱



吹奏楽部



2年次：ダンス



3年次：ダンスパフォーマンス

進路実現への取り組み

進学 山梨県立大学

3年 山内 杏優 インターアクト部 (自然科学系列・甲府東中学校出身)



私は中学3年の頃から山梨県立大学へ進学したいと思っていました。そのため、1年次の頃から勉強には力を入れ準備していましたが、3年次になり入試が近づくにつれて多くの不安を感じました。しかし、入試に向けて“TO-DO-LIST”を活用しながら、小論文や面接に全力で取り組んだことで力がつき、自信へと繋がりました。特に面接では本当に多くの先生方に指導していただいたため、スラスラと答えられるようになり、面接が自分の強みになりました。入試当日はとても緊張しましたが、周りの人に流されずやってきたことを信じて臨んできたことが合格へと繋がったと思います。合格までの道のりは辛いことの方が多かったですですが、進学後は自分が目標とする保健師になれるよう、精一杯頑張りたいと思います。最後に私からのメッセージとして、高校生活は一度しかないので楽しみながら、自分が一生懸命になれることを探してほしいということを後輩の皆さんに伝えたいです。

就職 テルモ株式会社

3年 田中 宏征 バスケットボール部 (メカトロニクス系列・敷島中学校出身)



私の将来の夢は、人のために役立つものを作ることです。現在、新型コロナウィルスの影響で世の中の人が苦しんでいます。そんな中、ワクチン接種での注射器や、肺炎患者が使用する人工呼吸器が、患者の命を助ける大切なツールとして医療現場で役立っている様子をテレビで見て、医療機器の大切さを改めて知りました。私がテルモ株式会社を志望した理由は、自分の将来の夢が実現でき、多くの人の命を救うことに携わることができると感じたからです。入社試験までは筆記試験対策に取り組み、面接練習も毎日行いました。無事内定をもらうことができたとき、3年間頑張ってきたことが報われた達成感と、周りの方々への感謝の気持ちを強く感じました。入社試験を通して、自分の目標のために努力を積み重ねていくことが、成果として実を結ぶことを学びました。後輩の皆さん、目標を持ち続け、達成するための一つ一つのステップを大切にしてください。

高資格取得

厚生労働省 技能検定「機械加工・普通旋盤作業 2級」

3年 高橋 一華 バドミントン部 (メカトロニクス系列・甲府北中学校出身)



私がメカトロニクス系列に興味を持ったのは、1年次での系列体験授業がきっかけでした。先生方が作ったきれいに加工された製品に感動し、私も自分の手で作ってみたいと感じ、工業分野に進むことを決めました。2年次から始まった系列授業で工業科目の基礎を学び、技術を身に付けてきました。数々の検定に挑戦していく中で、機械加工・普通旋盤作業2級の資格は女子生徒の合格者が県内にいないことを知り、“県内初の女子生徒合格者になる”という目標を持ちました。社会人レベルの2級ということもあり、難しい内容も多く苦戦した部分もありました。しかし、今まで学んできた授業での取り組

みや、ものづくりマイスターの森田先生との連携授業を通し、一つ一つ知識や技術を積んでいきました。さらに学びを深めるため、週末は甲府市の山梨職業能力開発促進センターでの講習会にも積極的に参加し、練習を重ね本番に臨みました。結果を聞いた時、安堵した気持ちとともに、今まで関わってくれた方々への感謝の気持ちでいっぱいになりました。卒業後は甲府工業専攻科へ進学し、さらに高いレベルの技術の習得に力を入れたいと思います。学んだことを自分の職業として活かし、技術者として多くの人の役に立つ製品作りに励んでいきたいです。

今号の表紙 サッカー部3年次生

3年間、「未来の荒川を作る会」のボランティアに参加し活動してきた生徒達です。撮影日当日は、就職試験やワクチン接種で集まることができない生徒もいましたが、ほとんどの3年生が集合して撮影に協力してくれました。本校の校訓は「進取創造」ですが、サッカー部は「蹴史創新」を目標に掲げ、日々練習に励んでいるとのことです。「蹴史創新」は「サッカー部の新しい歴史をつくろう」という意味だそうです。



サッカー部・野球部の大会シーン、特色の工業系、商業系、福祉家政系写真：(有)ササモトスタジオ 提供

KJ通信 We love Josai.

発行日 令和4年2月1日

山梨県立 甲府城西高等学校

T400-0064 山梨県甲府市下飯田1丁目9-1

TEL 055-223-3101 FAX 055-223-3103

URL : <https://www.josaih.kai.ed.jp/>

Mail : josaih@kai.ed.jp

QRコードから本校のホームページをぜひご覧ください。

K
ofu
Josai

